

## 別紙参考様式 2

### 令和 5 年度研究推進計画

学 校 名 東広島市立三永小学校

学校長名 木 村 忠 由

#### 1 研究主題，研究内容・方法等について

##### (1) 研究主題

自律した学び手を育てる授業の創造  
～児童の自己調整力と学力の向上を目的とした，  
効果的な学習方法の習得・活用を促す指導の工夫を通して～

##### (2) 主題設定の理由

データ×AI 時代において，昨今話題となっている ChatGPT を始めとした現代社会の急速な進歩が目覚ましい。その速度は指数関数的とも言われている。変化の激しい時代において，確かな基礎学力をもち，複雑な課題に対して適切な方法を選択し，他者と協働して課題解決を図る力は，未来社会を力強く生き抜くための素地となるだろう。

本校では，昨年度，研究主題を「自ら学び続ける児童を育成する国語科授業の創造」とし，重点的に育てたい資質・能力である「自己調整力」を高めるための研究を進めてきた。「自己調整学習」のサイクル「予見」「遂行」「自己省察」に着目した指導の工夫を行い，児童は粘り強く学習に取り組んだり，他者と協働して課題解決に取り組むことのよさを見出したりする姿が多く見られるようになった。児童アンケートの結果からも「自己調整力」の高まりが見られ，国語科の授業改善を通じた自ら学び続ける児童の育成について，一定の成果を出すことができた。

しかし，他教科・領域等で「自己調整力」をどこまで発揮しているかを検証できていないことや，学習方法に関する指導の難しさが課題として見えてきた。特に，後者の課題は，発達段階によって自己を客観的に捉える力に差があることが原因ではないかと考えた。そこから，全学級で統一して行うことの難しかった指導の手立てを見つめ直し，発達段階に応じて研究を細分化していく必要があると考えた。

そこで，今年度は，研究主題を「自律した学び手を育てる授業の創造」とし，昨年度の取組を一部継続しながら，児童の自己調整力と学力の向上を目的とした授業づくりの研究を進めていくこととした。な

お、目指す児童の姿として設定した「自律した学び手」は、「①自分の学びの状況がわかっている姿、②学びの目標をもっている姿、③効果的な学習方法を知り、それらを選択している姿」と捉えることとした。児童の発達段階に配慮しながら、効果的な学習方法の習得・活用を促す指導の在り方を検討する。

(3) 研究仮説

各教科・領域等の授業において、効果的な学習方法の習得・活用を促す指導の工夫を行うならば、自律した学び手を育てる授業となり、児童の自己調整力と学力を高めることができるであろう。

(4) 研究内容

発達段階に応じた効果的な学習方法の習得・活用を促す指導の在り方を検討する。

(5) 検証の方法及び指標

A) 教師の授業力評価の分析

提案授業における教師の相互評価を通して、目指す児童を育成する学習指導を実現することができていたかを評価する。

<肯定的評価 3.2 以上（4段階評価）>

B) 児童の学力調査の分析

6月と12月の学力調査において、全国平均値と比較する。

<全国平均値以上>

C) 児童の意識調査の分析

6月と12月の意識調査を比較し、その結果を分析する。

<肯定的評価の割合 80%以上>

## 2 検証計画

(1) 教師の授業力評価の実施と分析（6月、提案授業後）

(2) 学力調査の実施と分析（6月、12月）

(3) 児童の意識調査の実施と分析（6月、12月）

## 3 校内研修計画

4月

- ・前年度の研究成果と課題分析
- ・研修組織づくり
- ・研究の年間計画案づくり

5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究方法の確認</li> <li>・研究の理論構築</li> </ul>
6月 7月 8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識調査の実施・分析</li> <li>・教材分析, 指導案作成, 指導案検討 (模擬授業)</li> </ul>
9月 10月 11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導案検討 (模擬授業)      ・授業実践</li> <li>・学力調査の実施及び分析</li> <li>・意識調査の実施及び分析</li> <li>・研究の成果と課題の分析</li> </ul>
1月 2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究紀要の作成</li> <li>・研究の課題整理</li> <li>・次年度の方向性の確認</li> </ul>

#### 4 研究公開の予定について

なし